

令和7年度 第3回 富谷市男女共同参画推進審議会 会議録

日 時：令和8年1月23日（金） 10時30分～11時30分

会 場：富谷市役所3階 305会議室

参加者：富谷市男女共同参画推進審議会 出席委員9名

：富谷市 1名

：事務局 4名

1 開会（司会：市民協働課 課長補佐）

2 会長挨拶（宮原会長）

皆さんこんにちは。おかげさまで今日、この男女共同参画基本計画を富谷市長にお手渡しができる答申の日を迎えました。

皆さんとの2回の審議会での議論とその後パブリックコメントが行われましたが、そのパブリックコメントの様々なエッセンスを盛り込んで、本日答申をさせていただきます。その前に答申案について皆様にご確認をいただいた上で、市長さんに手渡しをしたいと思っております。今日もまたいろいろコメントをいただければありがたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※ここから、会長が議長となり議事が進行された。

3 審議事項

（1）第2次富谷市男女共同参画基本計画（答申案）について

（宮原会長）

それでは議事に入ります。第2次富谷市男女共同参画基本計画、答申案についてを議題といたします。では答申案について事務局からご説明お願いいたします。

（市民協働課 新田）

それでは、資料の説明をさせていただきます。

説明に先立ちまして、パブリックコメント実施にあたり資料の確認など、委員の皆様には、大変お忙しい中ご協力をいただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。予定どおり、11月21日から12月10日までの間、計画案についてパブリックコメントを実施しましたところ、1名の方よりご意見が寄せられましたので、改めてご報告をさせていただきます。

本日の資料2答申案につきましては、パブリックコメントの結果を踏まえ、計画内の表現に一部修正を加えておりますが、計画の構成および内容に大きな変更はございません。また、参考資料として委員名簿や関連法令などを付け加え、答申案として作成いたしました。

それでは資料の説明に入ります。資料1と資料2を見比べながらご説明させていただきます。

はじめに、資料1の「第2次男女共同参画基本計画パブリックコメントに対する市の考え」をご覧ください。

資料1にございますように、お一人の方から寄せられたご意見は3件ございました。

まず、1つ目の「哲学的基盤の確立と幹部職員の意識改革」についてですが、2段落目の下線部「幹部研修（管理職・政策決定層）の内容を抜本的に強化すること、幹部職員への哲学研修やジェンダー主流化研修の義務化を求めます」というご意見をもとに、計画内の表現を一部見直しました。修正後については、資料2、25ページをお開きください。

第4章 推進体制 「1庁内推進体制の整備」の赤文字部分の表記になりますが、「研修等を通

じて」という文言を追加いたしました。階層別研修などは本市においても計画的に行われているものの、ジェンダー平等やジェンダー主流化に焦点をあてた研修の実施なども今後検討していくという意味も含め、朱書きの通り追記いたしました。

続きまして、**資料1**の2つ目のご意見、計画理念と評価指標の国際的整合性の確保についてですが、こちらについては今後の参考とさせていただくという表記にとどめ、計画への反映はございません。

続きまして、**資料1**の裏面になります。3つ目の「施策の重点化」のご意見については、下から3行目「DVや性暴力対策には切れ目のない支援体制を構築し推進することが肝要であり」というご意見を踏まえ、計画内の表現に一部修正を加えました。

修正後については、**資料2**の16ページをご覧ください。(3)相談体制の整備について、朱書きのとおり「DVや性暴力、性的指向、性自認等を理由とする困難を抱える方からの相談をはじめ、男女共同参画に関するあらゆる相談に対して」という文言を追加いたしました。

次に19ページをご覧ください。基本目標3の家庭生活における男女共同参画の実現【現状と課題】内の表現を一部見直し、「さらに、警察などの関係機関と連携し、切れ目のない支援体制の推進が求められます。」という表現を朱書きのとおり追加いたしました。

パブリックコメントを受けての修正等については以上になりますが、それ以外の部分について、若干修正がございますのでご説明いたします。

資料2の6ページをお開きください。グラフ内の数値をパブコメの前に直しておりましたが、本文の中の表記がそのままでしたので、朱書きのとおり53.5%に修正いたします。

15ページをお開きください。成果目標の下段の表記に「市の」という文言を加え朱書きの通り改めました。また、目標値の文字の下に、いつまでをというところを明確にするため、計画の終期である「R13年度末」の表記を追加しております。以後の目標値の部分の関しても同様に修正しております。

続いて、17ページをご覧ください。成果目標のいずれにも、市の職員ということが分かるように朱書き文言を追加しております。

26ページからは参考資料となります。

28ページをお開きください。こちらは、「富谷市男女共同参画推進審議会 委員名簿」ですが、委員名簿につきましては、委員皆様のご氏名、所属等を掲載しておりますので、ご了承ください。

なお、この後市長に答申を行うことから、事前に委員の皆様から書面にてご意見を伺いましたが、答申案に関するご意見等はございませんでしたので、この場を借りてご報告させていただきます。

事務局からの説明は以上です。

(宮原会長)

それでは答申案について事務局の方から、パブリックコメントのご意見を盛り込んだ部分、それから微少な修正についてご説明がございましたけれども、皆様から何かご意見がございますでしょうか。

この後、答申書の手交が行われますけれども、事務局がご説明くださった答申案をもとに答申という流れでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

まだ少し時間がございますので、せっかくですので、委員の皆さんから少し所感等お話をいただければと思います。何でも結構ですので、今回の審議会について、また世の中いろいろなことが変わってますけれども、何かお話がありましたらぜひ、皆さんにお伝えいただければと思います。それでは、おひとり2、3分ぐらいでしょうか。ご意見ご感想いただければと思います。

（高世委員）

私たち人権擁護委員の仙台協議会で男女共同参画委員会を立ち上げて、1年が経とうとしております。今年1年は研修をして勉強する年ということで、いろいろ勉強をしてきた中で次年度に向けての活動を話し合ったときに、こういったものを作って発表するのは、自分たちの作る側の納得でしかない、本当に求めているものはそういった事態になった時に、こういった対応をしてくれるかというのが受け側はとても大事に思っているということで、発表と同時にこういった場合はこういった支援体制があるかというのを作ることが一番大切だという意見が出ました。仙台市の男女共同参画を勉強していく中で、仙台市ではこういった相談がいつできて、そしてその相談に対応してくれるのはこういった人かということが詳しく書いています。ですので、本当に安心して、こうなった時はこういった立場の人が相談に乗ってくれるというのが分かり、こういったものを一緒に出すことによって、いざその場になったときは多分慌ててパニック状態なので、平常の時にこういったものを見ているのがすごく将来のためになるということで、こちらが落ち着いたら富谷市さんでも今度こういった相談体制と仕組みをしっかりと作って、それを周知することが大事なかなと思い、今日お話をさせていただきました。

（増田委員）

私たち委員の意見、それからパブリックコメントでのご意見を入れていただき、どなたが読んでも読みやすい計画になったというふうに感じております。

私自身もこの最初のイメージで男女共同参画というので参加させていただいて、お話を聞いているときに、本当に日常には細かな差別というか、世の中にはいろんな偏見、差別があるんだなということを学ばせていただきました。

おそらく、富谷市は男女とつくものに関しては結構最先端を行っていると思うんですね。いつか、昔男女共同参画なんていう話し合いがあったわねと言えるときがくるように、今高世さんがおっしゃったように、本当に困った人には速やかに対応して、誰もが住みやすい世の中になるように、私も一市民として、心がけていきたいなと思っております。

（遠藤委員）

私も今回初めてこういった審議会というものに参加させていただいて、大変勉強になりました。ありがとうございます。

このパブリックコメントのご意見を拝見して、深く勉強された、とても高度な意見でしたので、とても参考にはなるとは思ったんですが、やはり一般の市民の方、本当に必要とされている方であったり、若い世代の方が見てもわかりやすい内容で、概要版のようなものを作る際には先ほど高瀬さんがおっしゃったような、わかりやすい資料、イラストが入ったものですか、言葉もちょっと簡単なもの、皆さんが理解しやすいものがあつたらいいのかなと思いました。

（中条委員）

今回貴重な経験をさせていただいて、非常にありがたいと思っております。

私どもも事業でこういった計画を立てるのですけれども、計画が大事ではなく、PDCAサイクルあと評価、期中での修正というところが、この6年間の中でしっかり入っていただけるところが、本来の意味での計画となるかと思えます。

ぜひ、計画ありきではなく、時代の背景に合わせた評価、修正、PDCAサイクルという形で、6年以降も続くことを期待いたしておりますので、よろしくお願いいたします。

(三浦委員)

貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございました。

私は一般公募から参加させていただいたのですが、今回こういった会議に出席させていただき、知るということはとても大事だなと感じました。私が今まで子育てして、ほぼ専業主婦で過ごしてきて、専業主婦だからこそもっとそういうことに目を向けていけばよかったのに、それを知ろうとせず、今まで来てしまったなと感じております。今回こういった資料の内容を見て、あのときこのように考えればよかったのか、こういうことを市として活動していたんだということを知ることができました。

私が結婚して子育てをしてる間に、周りの風潮と娘たちが今度母親となり過ごしていく世代は変わっていくと感じています。これを言ってしまったらもう、ハラスメント的な言葉になっちゃうんだとか、やはりこちらが気をつけなきゃいけないこともすごくたくさんあるんだなと感じています。

今回パブリックコメントの意見にもあったように、性的なことを小さい子たちにも教えていくことがとても大事だなと感じました。その問題はなかなか親もそこに入れず、学校側もなかなかそういうことを教える機会がないので、SNSの動画で今、小さいお子さんに、ここここは見せちゃいけないところ、さわらせちゃいけないところと、一生懸命訴えてる方がいらっしゃいます。そういったことを幼稚園の頃から教えられる、リズム遊びの感じで見ることができる動画があるので、のちのちそういったことを教育課などでいろいろなことを考えていくかと思いますが、子どもたちを守るということも一つかなと感じています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

(高橋委員)

私も一般公募で今回初めて参加させていただいたのですが、私たちも年齢的な面から言いますと、昭和30年代、小学生で学校の先生はもう神様みたいな感じで、怒られても家に帰れば、お前が悪いんだというようなそういう時代だったので、ここに来て、いろんな面を見て、世の中は随分変わっていくんだなという形で勉強になりました。本当にありがとうございました。

(大沼委員)

皆様からご意見いただいて、すごく富谷市らしい計画になったのではないかなと思います。

この間、NPO団体の代表の方とお話をする機会がありまして、その時に今の若い人たちはどこで子育てをするかを冷静に見極めている、富谷市や名取市が子育てしやすいところだということで大変人気があるんです、という話をお聞きし、今の若い人たちはいろいろ情報集めているのだなと思いました。

やはりこういう計画できちんとした施策がとられていくことで、住民にとって住みやすいまちになるのだなということで、ぜひこれからもがんばっていただければと思うのと、県も若い人たちが今就職なり、大学進学なりで県外に出ていってしまうというところで大変危機感を感じておりますので、またいろいろ力を入れていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(江刺委員)

自分が最初サラリーマンをやった時には、女性だけの営業所でした。女性の部長さんがいて、女性の課長さんがいて、そして営業マンが全部女性。そのあと大学に行って勉強して、教員になったときにも、男女の差はあまりありませんでした。それから行政の方に入っても、教育委員会や県庁に行っても、やはり男女関係なく、給料はみんな同じというところだったので、改めてこの男女共同参画については意識しなかったんですね。しかし、いじめ問題の関係にも入ってまし

たら、そこに虐待とか、当然その家庭不和の中で、お父さんお母さんの役割でどうしてもお父さんが強くてお母さんが泣き寝入りするという、そういうものを身近に感じたら、やっぱり男女共同参画の社会というか、これが必要な時代というか、それが時代の要請なんだなということを感じました。

もう一つは、団塊の世代の真っただ中の私ですが、今ここの資料にもありますけれど、どんどん高齢化社会になってきて、子どもたちも少なくなってくる。70、80代の人たちが、戦後のこの日本の経済活動期を頑張ってきた人たちが、今おじいさんおばあさんとなり、次の若い人とは世代間の差がある。そういった人たちがますます増えているこの世の中で、孫に対してどのように指導するか、男の子だから、女の子だからというようなことがまだまだあるのかなと思います。だからこそ、この計画があるように、推進体制の中でやはりこの高齢者を対象にした啓蒙活動というのが大事になってくるのかなと思います。このすばらしい計画をさらに実行に移していくためには、おじいさんおばあさんたちに対して、そここのところにも重きを置くことが大事になってくるのかなということ強く感じたところであります。

(宮原会長)

やはり自治体によって男女共同参画のあり方といいますか、重きを置いてくる課題のレベルというのは違うのだなと思いました。増田さんがおっしゃったように、富谷市はやはり先を走っているといますか、非常にリベラルな雰囲気土地柄であり、市民の皆さんたちもそういう部分が強いと感じています。私が以前携わってきた東松島市は、2011年の東日本大地震を体験して、その過程で、家族構成が変わってしまったり、今までの仕事が変わったり、無くなってしまったり、そういった体験をした人たちが多かったです。そうした方々が、復興の過程で改めて家族や家庭を立て直していく際に、男性側にかかる家長としてのプレッシャーが大きかったと推測されます。それから女性も、震災復興の過程で大変活躍されました。女性にとっては、震災後新しい地域社会の中で、自分たちも必要とされている部分と、まだまだ女性は後ろに控えてという、そういった空気の中のせめぎ合いが長らくあったかなと思います。東松島市もようやく女性が前に出てきて、そして自分たちのまち、それから子どもたちのことを考えながら、男性も女性も一緒に、地域を支えていこうとする姿勢が見えてきました。東松島市の男女共同参画審議会の活動に接していて、そここのところはずいぶん変わったかなと思います。富谷市は男女共同参画の面では、他の自治体に比べて先に走ってる中で、今回の計画では、何を一番大事にし、富谷のみなさんにとって何が重要になってくるかというところを盛り込んでいただいていると思います。男女という二つのくりではなくて、やはり市の中で困っていらっしゃる方、色々な立場の方をこの計画の中で包摂して、パブコメの方がおっしゃっていた、切れ目のない支援をできるということがとても大事なかなと思いますし、それができる市民の皆さんの力があると思っております。私も今回、富谷市のこの男女共同参画の計画づくりに関しては、非常に前向きで力強いメッセージを込めていただけたのではないかなというふうに思って、皆様へ感謝しております。ありがとうございます。

では、これでこちらの審議の時間は終わらせていただきまして、進行を事務局にお返しします。

4 その他

事務局より諸連絡

5 答申

6 閉会

以上